

東京電力(株)からの報告の概要

(2月6日17時までに受けたもの)

- 本日(6日)11時05分頃、福島第一原子力発電所の原子炉注水設備への水移送配管に設けられているストレーナの圧力指示計からRO処理水が漏えいしていることを確認。
- 11時07分頃、当該圧力指示計の元弁を閉めたことにより漏えいは停止。
- 漏えいした水は、当該ストレーナ下の周囲に設置された土嚢の内側に流下したが、汚染は土嚢の内側に留まっているものと推定。
- 漏えい量は約600リットルと推定。
- RO処理水の放射性物質濃度(平成25年12月10日採取)は以下のとおり。
 - Cs134 : 検出限界未満
 - Cs137 : 検出限界未満
 - 全ベータ : 2.8×10^3 乗ベクレル毎リットル
- 漏えいが認められた部位のRO処理水の放射性物質濃度は測定中。
- 今後、漏えいした範囲の土壌を回収する予定。